

効果等調査報告書
平成23年7月調査

東京都繁華街等における体感治安の 改善事業に関する効果等調査報告書

平成23年12月



目 次

1	調査目的	1
2	調査概要	2
3	事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況	5
3-1	東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要	5
3-2	東京都全体の犯罪発生件数の推移	10
4	全体の調査結果分析	13
5	地域ごとの事業効果など考察	47
5-1	秋葉原	47
5-2	自由が丘	60
5-3	池袋	71
5-4	立川	82
5-5	二子玉川（事業未実施地域）	93
5-6	新小岩（事業未実施地域）	101
5-7	事業実施地域及び事業未実施地域のまとめ	109
6	事業実施における効果等への考察	114
6-1	調査結果全体について	114
6-2	調査結果を踏まえた体感治安の改善の方向	117
	資料編	119
1	協議会関係者ヒアリング要旨	120
2	各設問に対する「その他」の回答（主なもの）	151
3	東京都全体及び事業対象地域の犯罪発生件数の推移	168
4	利用者アンケートの回答者における特定年齢層の影響について	180
5	アンケート調査票	191

1 調査目的

都では繁華街における安全・安心を確保するため、平成 21 年 4 月、東京都安全・安心まちづくり条例を改正するとともに、区市町村等が主体的に行う繁華街等の安全・安心確保の取組を支援する、区市町村への補助事業「東京都繁華街等における体感治安[※]の改善事業」を実施してきた。

平成 22 年度までに 10 地域において事業が行われ、実施事例が蓄積されてきたことから、今後の安全・安心まちづくり施策の参考とするため、繁華街等を利用する人々の体感治安の改善に対する本事業の効果等を確認することを目的に調査を実施した。

※ 人々が日常生活の中で感じる治安の善し悪しに関する感覚

2 調査概要

事業による体感治安の改善に対する効果等を確認するために、「東京都繁華街等における体感治安の改善事業」の事業実施地域より4地域（秋葉原、自由が丘、池袋、立川）を、また、事業は行われていないが、防犯設備整備等の自主的な防犯の取組を行う予定があり、事業実施地域と同程度の集積がある地域から2地域（二子玉川、新小岩）を「繁華街等における体感治安の改善事業に関する効果等調査・編集委員会」^{*}での検討に基づき選定して以下の調査を実施した。

（1）調査対象地域の人口や鉄道駅の利用者数

調査対象地域の規模や訪れる人の状況などを把握するため、人口、事業所数、鉄道駅の利用者数を調査した。

（2）調査対象地域における犯罪発生件数の推移

都内及び調査対象地域の治安状況を把握するため、警視庁管内における犯罪発生件数について、粗暴犯、侵入窃盗、非侵入窃盗の別に調査、非侵入窃盗については、「ひったくり」「車上ねらい」「自転車盗」「置引き」「万引き」などの手口ごとに犯罪発生件数を確認した。

（3）繁華街を利用する人々の意見の把握

調査対象地域内を利用する人々に対してアンケート調査を実施し、体感治安の変化等を把握した。

①アンケートの方法

調査対象地域内の駅前等で、対象者を無作為に抽出し、インタビュー形式で実施した。アンケートは平日と土日、日中（13：00～17：00）と夕方～夜（17：00～20：00）で偏りがないように実施した。

②調査期間

6月24日～7月11日の期間に実施した。

③回答者数

回答者数は下記のとおりである。

^{*}繁華街等における体感治安の改善事業の効果等調査事項の検討及び調査結果に基づく考察を行うため、学識経験者、区市関係者、警察関係者及び東京都職員で構成する委員会

表 2-1 回収結果

調査地	回答者数
秋葉原（千代田区）	252
自由が丘（目黒区）	250
池袋（豊島区）	226
立川（立川市）	262
二子玉川（世田谷区）	293
新小岩（葛飾区）	234
計	1,517

（４）繁華街の住民・事業主等の意見の把握

調査対象地域内の住民・事業所等に対してアンケート調査を実施し、体感治安の変化等を調査した。

①アンケートの方法

調査対象地域内の住民及び事業主等に対して、アンケート票を無作為に配布し、郵送にて回収した。配布数は各地域とも 1,000 通である。

②調査期間

調査票の配布は 6 月 23 日～6 月 28 日の間に配布し、7 月 29 日到着分までを集計した。

③回収結果

回収数は下記のとおりである。

表 2-2 回収結果

調査地	配布数	回収数	回収率
秋葉原（千代田区）	1,000	285	28.5%
自由が丘（目黒区）	1,000	270	27.0%
池袋（豊島区）	1,000	176	17.6%
立川（立川市）	1,000	168	16.8%
二子玉川（世田谷区）	1,000	249	24.9%
新小岩（葛飾区）	1,000	246	24.6%
計	6,000	1,394	23.2%

2 調査概要

(5) 実施主体となった関係者の意見の把握（アンケート）

事業を実施した調査対象地域において、事業を推進した協議会の関係者に対してアンケート調査を実施し、体感治安の変化等を調査した。

①アンケートの方法

アンケート票は関係団体にまとめて送付し、協議会関係者への配布を依頼した。ただし、地域によっては、対象者への直接手渡し、又は郵送により配布した。アンケートの回収は郵送で行った。

②調査期間

アンケートの配布は6月13日～7月8日の間に行い、7月29日到着分までを集計した。

③回収結果

配布数、回収数は下記のとおりである。

表 2-3 回収結果

調査地	配布数	回収数	回収率
秋葉原（千代田区）	17	6	35.3%
自由が丘（目黒区）	20	12	60.0%
池袋（豊島区）	10	8	80.0%
立川（立川市）	10	8	80.0%
計	57	34	59.6%

(6) 実施主体となった関係者の意見の把握（ヒアリング）

事業を実施した調査対象地域の協議会委員の中から、主体となった商店会や町会等の代表者などへヒアリングを実施し、協議会の運営状況、体感治安改善事業に参加した目的、事業の評価等について認識を確認した。

3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況

3-1 東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要

(1) 事業の仕組み

「東京都繁華街等における体感治安改善事業」（以下「本事業という」）は、当該繁華街等における事業者、地域住民、区市町村及び管轄警察を構成員とする協議会により、地域の安全・安心まちづくりのための活動計画を策定し、防犯カメラ等の防犯設備整備や防犯パトロール・マナー向上活動などの事業を進めるものである。

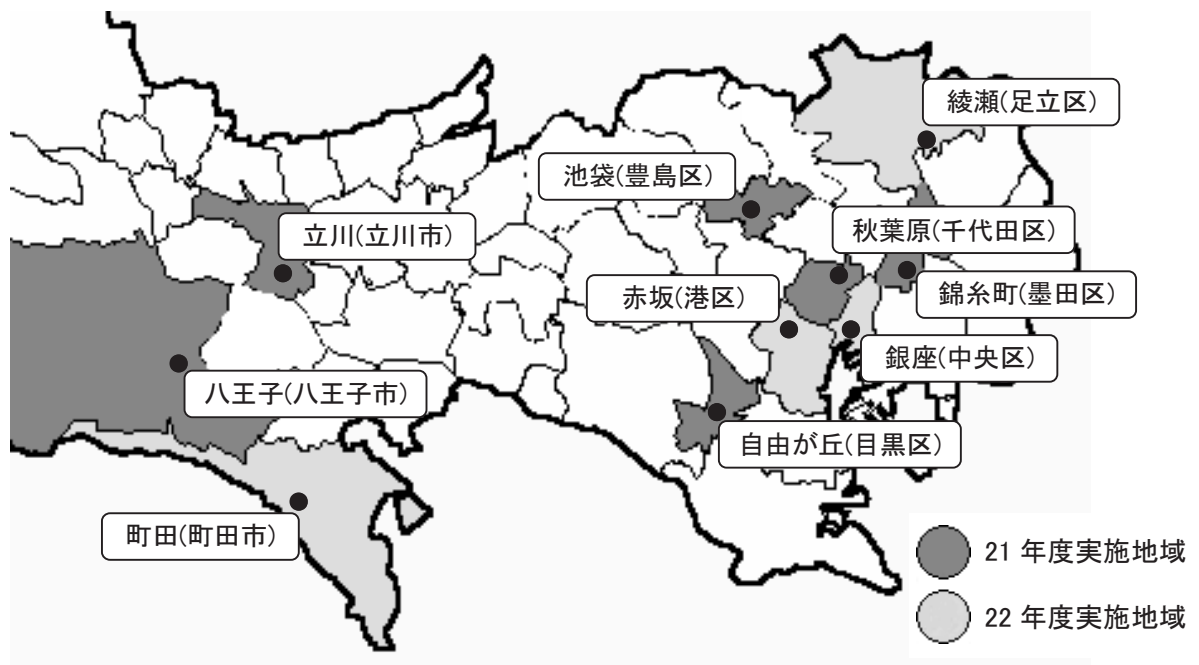
本事業は、防犯設備補助事業と地域防犯環境改善事業で構成されている。

防犯設備補助事業は、商店会や町会・自治会等の地域団体が、活動計画に基づき行う防犯カメラや防犯灯などの施設整備に対して補助を行うものであり、東京都及び区市町村がそれぞれ事業額の1/2、1/4を補助し、地域団体が1/4の自己負担で実施するものである。

また、地域防犯環境改善事業は、区市町村が、活動計画に基づき行う防犯カメラや防犯灯などの施設整備及び協議会の活動や青色防犯パトロール活動などの委託に対して、東京都が区市町村に事業額の1/2を補助するものである。

平成21年度、22年度に実施した地域は下記のとおりである

図 3-1-1 事業実施地域



3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況

3-1 東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要

(2) 調査対象地域

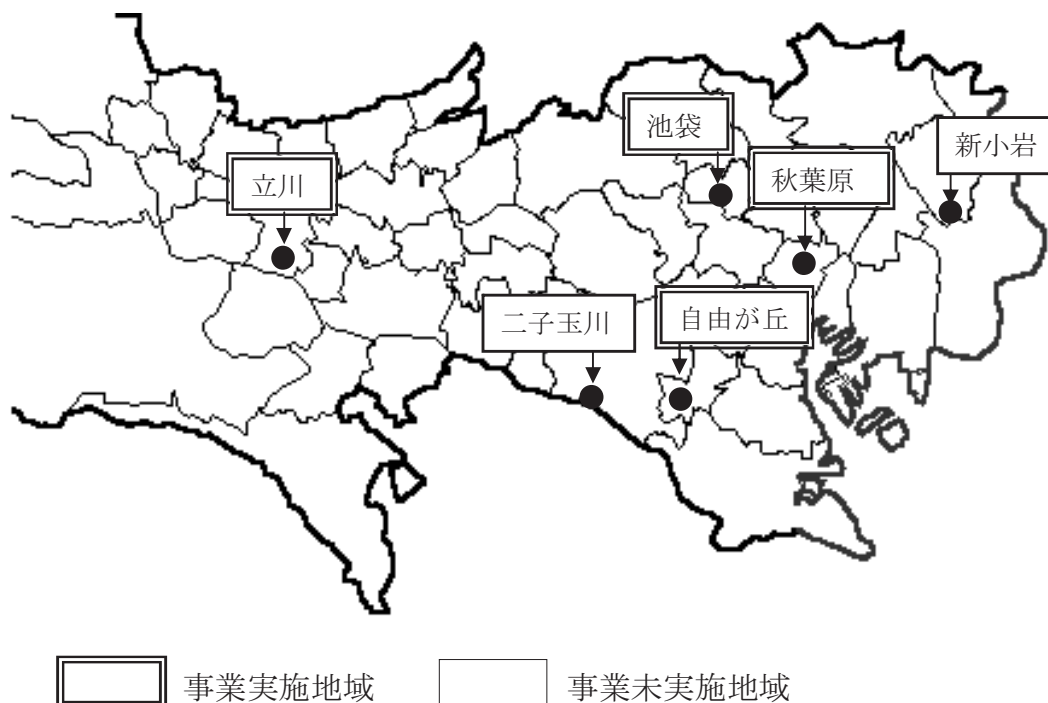
調査は、本事業を実施した4地域（秋葉原、自由が丘、池袋、立川）、と本事業を行っていない2地域（二子玉川と新小岩）で行った。

調査対象地域については、「繁華街等における体感治安の改善事業に関する効果等調査・編集委員会」での検討に基づき選定した。

本事業実施地域については、平成22年度までに事業を実施した10地域のうち、初年度に事業を行った地域の中から区部・市部の別や事業の特色等を考慮し選定し、事業を行っていない地域については、事業実施地域と同程度の集積があり、防犯設備を整備する意向をもっている地域から選定した。

調査対象地域の地点及び概要を以下に示す。

図 3-1-2 調査対象地域



3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況
3-1 東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要

表3-1-1 調査対象地（事業実施地域）

	秋葉原(千代田区、事業年度 H21)	自由が丘(目黒区、事業年度 H21)	
地域図 (※1)			
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な電気街 アニメ関連の店舗やメイド喫茶等が乱立する街 無差別殺傷事件が歩行者天国で発生(平成20年6月8日) 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前には多数の服飾店や雑貨店が立地 周辺は閑静な住宅街 若者、女性に人気のある街。 より安全な「歩いて楽しい街づくり」を目指す 	
地域データ	面積： 0.52 km ² 人口： 3,896 人 人口密度： 7,492 人/ km ² 世帯数： 2,155 世帯 事業所数： 2,892 事業所 事業所密度： 5,562 所/ km ² 1日の乗車人員： 約35万人(JR秋葉原駅)	面積： 0.75 km ² 人口： 10,297 人 人口密度： 13,729 人/ km ² 世帯数： 5,691 世帯 事業所数： 1,707 事業所 事業所密度： 2,276 所/ km ² 1日の乗車人員： 約7万人(東急電鉄自由が丘駅)	
協議会	名称	「まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会」	「自由が丘防犯対策推進協議会」
	経緯	平成20年に発生した無差別殺傷事件を契機として、同年8月、地域関係者を中心に設置された。この部会として、地域連携部会アキバ21が平成21年6月に設置された。	平成21年7月10日設置 協議会7回開催 作業部会の設置
	主な構成団体等	千代田区、警察署、町会、商店街振興組合、秋葉原タウンマネジメント株式会社、外計24団体	目黒区、警察署、消防署、(株)ジェイ・スピリット、商店街振興組合、町会、東急電鉄自由が丘駅、外計20団体
	事務局	千代田区まちづくり推進部都市計画課	目黒区危機管理室生活安全課
事業内容 (※2)	防犯設備補助事業 ・ 防犯カメラ設置(34台)	防犯設備補助事業 ・ 防犯カメラ設置(15台) ・ ボラード設置 ・ 街路灯設置(10本)	
	地域防犯環境改善事業 ・ 公共空間活用実行計画書作成	地域防犯環境改善事業 ・ まちの案内人(セザンジュ)配備 ・ 街路灯整備(2本)	

※1 縮尺は池袋の600mを除き200mとなっている。

※2 防犯設備整備事業＝都及び市区がそれぞれ事業額の1/2、1/4を補助し、地域団体が1/4を自己負担する。防犯環境改善事業は、都が区市町村に事業額の1/2を補助する。

3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況

3-1 東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要

	池袋(豊島区、事業年度 H21)	立川(立川市、事業年度 H21)	
地域図	<p>※池袋の地図は他の地域よりも縮尺が大きい</p>		
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> 「四地区※3」のひとつ 百貨店をはじめ多数の店舗が立地、休日の一部の通りが歩行者天国 	<ul style="list-style-type: none"> 「四地区※3」に次ぐ盛り場 南口は多数の風俗店や場外馬券場が、北口は百貨店をはじめ多数の店舗が立地 	
地域データ	面積(※4)： 2.95 km ² 人口： 42,636 人 人口密度： 14,453 人/ km ² 世帯数： 27,650 世帯 事業所数： 8,456 事業所 事業所密度： 2,866 所/ km ² 1日の乗車人員： 約153万人(※5)	面積(※4)： 1.92 km ² 人口： 21,168 人 人口密度： 11,025 人/ km ² 世帯数： 11,645 世帯 事業所数： 3,501 事業所 事業所密度： 1,823 所/ km ² 1日の乗車人員： 約19万人(※5)	
協議会	名称	「豊島区生活安全協議会繁華街対策部会」	「立川駅周辺安全・安心まちづくり協議会」
	経緯	豊島区生活安全条例に基づく「豊島区生活安全協議会」の繁華街対策部会	立川駅周辺の治安対策が危惧され、地元自治会、商店街、PTA、市議会議員等がメンバーとなり、平成16年10月に結成された。
	主な構成団体等	豊島区、警察署、消防署、環境浄化推進委員会、町会連合会、商店街連合会、日本ガーディアン・エンジェルス、外計38団体	立川市、警察署、消防署、入国管理局立川出張所、環境改善推進協議会、暴力団追放協議会、JRAウインズ立川、外計18団体
	事務局	豊島区治安対策担当課	立川市市民生活部生活安全課
事業内容	防犯設備補助事業 ・ 防犯カメラ設置(39台)	防犯設備整備事業 ・ 防犯カメラ設置(22台)	
	地域防犯環境改善事業 ・ のぼり旗等パトロール用品購入 ・ 自転車放置禁止板設置 ・ 交通島(※6)景観改善 ・ 街路灯整備(37本) ・ 防犯カメラ設置(6台)	地域防犯環境補助事業 ・ 街路灯整備(44本) ・ マナールールCM制作 ・ ベスト等防犯資材購入	

※3 都内有数の繁華街である新宿歌舞伎町、池袋、六本木、渋谷の4地区をいう。

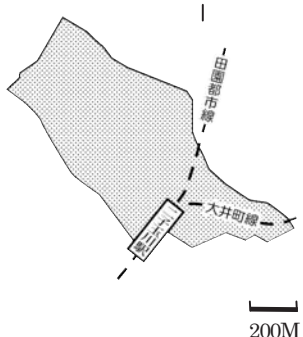
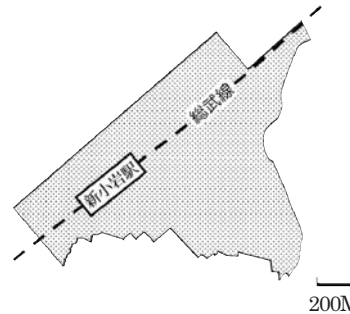
※4 池袋・立川の面積は、事業対象となった地域を含む町丁目の面積の和であるため、事業対象地域の面積よりも広がっている。

※5 池袋は、JR、メトロ、西武鉄道、東武鉄道各社線の乗車人員の合計。立川は、JR、多摩モノレール各会社線の乗車人員の合計。鉄道事業者間の乗り換えは重複計数されている場合が多いと考えられる。

※6 交通島とは、車両や人の安全を図るために、交差点・交通の分岐点に設けられる島状の施設。

3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況
 3-1 東京都繁華街等における体感治安の改善事業の概要

表 3-1-2 調査対象地（事業未実施地域）

	二子玉川(世田谷区)	新小岩(葛飾区)
地域図		
地域概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和44年に日本で初めての郊外型デパートの建設を契機に人気ショッピングエリアへと変貌 ・若者を中心に多くの買物客を集めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・総武本線新小岩駅が開設（昭和3年）されてから発展した歴史ある繁華街 ・新小岩駅の南北に繁華街が広がる ・140店舗を有する専門商店街もあり、多くの買い物客を集めている
地域データ	面積： 0.65 km ² 人口： 8,561 人 人口密度： 13,171 人/ km ² 世帯数： 4,450 世帯 事業所数： 897 事業所 事業所密度： 1,380 所/ km ² 1日の乗車人員： 約7万人(東急電鉄二子玉川駅)	面積： 1.26 km ² 人口： 19,573 人 人口密度： 15,534 人/ km ² 世帯数： 10,735 世帯 事業所数： 1,180 事業所 事業所密度： 9,372 所/ km ² 1日の乗車人員： 約5万人 (JR新小岩駅)

出典：面積「平成17年国勢調査」、人口・人口密度・世帯数「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（平成23年1月）」、事業所数「平成18年事業所・企業統計調査報告 町丁目編」、1日の乗車人員（平成21年度）各鉄道事業者HP等

3-2 東京都全体の犯罪発生件数の推移

(1) 東京都の犯罪発生件数の推移

東京都における犯罪発生件数^{*}は、平成14年をピークとして、平成22年まで、着実に減少を続けている。下図に示すとおり、平成16年には283,326件だったが、平成22年には195,970件と30.8%の減少となっている。本事業が実施される直前の平成20年（212,152件）と実施後の平成22年（195,970件）とを比べると、7.6%の減少となっている。

図3-2-1 東京都全体の犯罪発生件数の推移

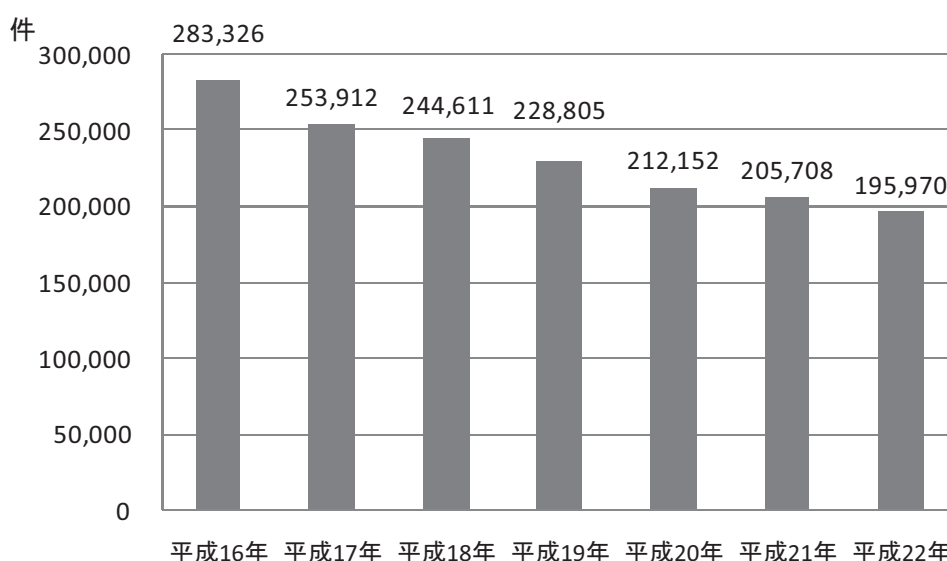


表3-2-1 東京都全体の刑法犯（粗暴犯・侵入窃盗・非侵入窃盗）の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
犯罪総数	283,326	253,912	244,611	228,805	212,152	205,708	195,970
うち							
粗暴犯	10,082	10,481	11,253	10,481	9,752	9,055	8,373
侵入窃盗	25,651	19,278	17,325	13,145	11,434	10,770	9,415
非侵入窃盗	183,029	162,446	157,137	150,984	141,420	139,802	135,769

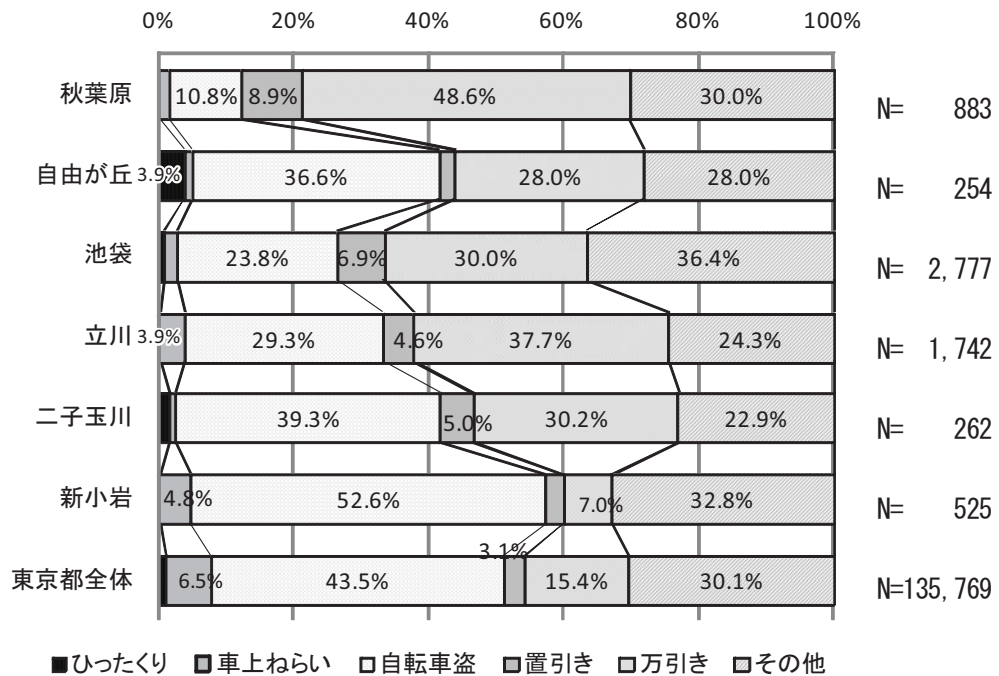
^{*}本調査における犯罪発生件数は、警視庁「警視庁の統計」及び「区市町別、罪種及び手口別認知件数」による。なお、犯罪発生件数は刑法犯認知件数と同じ意味で使用している。

(2) 非侵入窃盗の詳細

東京都全体の刑法犯の大部分を占める非侵入窃盗のうち、発生件数が多い手口である「ひったくり」「車上ねらい」「自転車盗」「置引き」「万引き」の構成比をみると、商業地的な性格が最も強い秋葉原では、「万引き」が最も高く48.6%で、他の地域で高い「自転車盗」が10.8%と少なくなっている。住宅地的な性格が強い新小岩、二子玉川、立川では「自転車盗」が高くなっており、地域によって特性がみられる。

なお、「すり」については、移動中の列車内において発生するものも多く含まれ、犯罪統計上犯行場所が該当地域に限らないことから除外している（以下、地域別の分析においても同様とする）。

図3-2-2 非侵入窃盗の主な手口の構成（平成22年）



※3%未満数値の表記は省略した。

3 事業の概要及び東京都全体の犯罪発生状況

3-2 東京都全体の犯罪発生件数の推移

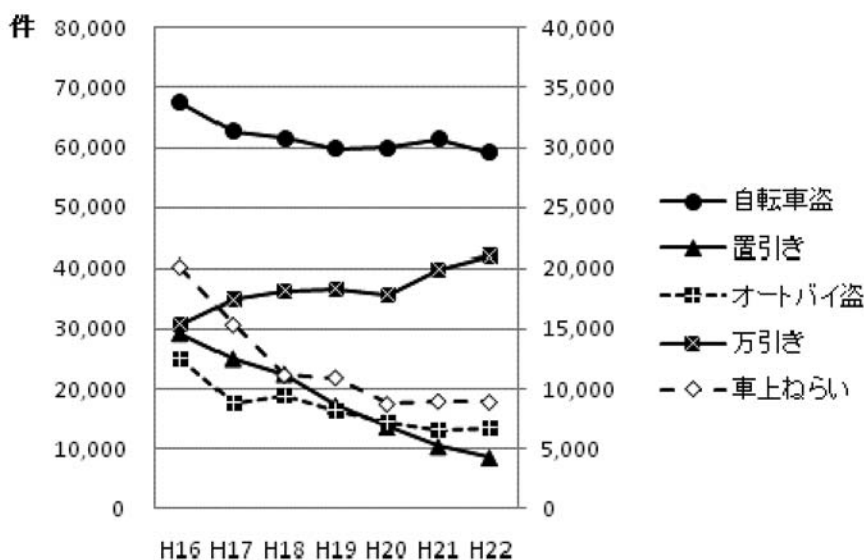
表 3-2-2 非侵入窃盗の手口別推移

東京都全体	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	変化率 (H22-20)/H20
自販機ねらい	6,557	3,730	2,428	3,248	2,443	1,327	1,178	-51.78%
置引き	14,598	12,476	11,209	8,584	6,808	5,176	4,241	-37.71%
すり	8,195	6,435	5,648	4,281	3,723	3,517	3,059	-17.84%
ひったくり	4,518	3,406	3,224	2,840	1,983	2,304	1,812	-8.62%
自動車盗	2,094	1,455	1,497	1,054	685	548	627	-8.47%
オートバイ盗	12,508	8,856	9,381	8,202	7,262	6,548	6,709	-7.61%
自転車盗	67,418	62,582	61,472	59,785	59,902	61,334	59,046	-1.43%
車上ねらい	20,105	15,340	11,130	10,920	8,711	8,943	8,872	1.85%
万引き	15,386	17,395	18,166	18,297	17,816	19,955	20,929	17.46%
その他	31,650	30,771	32,982	33,773	29,087	30,150	29,296	0.72%
合計	183,029	162,446	157,137	150,984	141,420	139,802	135,769	-4.00%

これらの中で平成20年に犯罪発生件数が5,000件以上ある手口(「置引き」「オートバイ盗」「自転車盗」「車上ねらい」「万引き」)について、下図にまとめた。

平成22年において、平成20年と比較し減少したのは、「置引き」「オートバイ盗」「自転車盗」である。「万引き」は、増加傾向がみられるが、平成22年4月からは、万引き防止対策として全件届出が進められていることの影響もあると考えられる。「車上ねらい」は、減少傾向にあるが、平成20年以降若干増加している。

図 3-2-3 東京都全体の主な非侵入窃盗の推移



※自転車盗の発生件数は左軸に、置引き、オートバイ盗、万引き、車上ねらいは右軸に示してある。

4 全体の調査結果分析

アンケート調査は、繁華街の利用者アンケート、住民・事業主等アンケート、協議会関係者アンケートの3種類を実施した。それぞれのアンケートは、対象者が異なるが、同じ設問内容を含むことから、結果全体を設問ごとに示していく。

なお、本文・図表中の「利用者」は「繁華街の利用者」を、「住民・事業主等」は「繁華街の住民・事業主等」を示す。また、協議会関係者アンケートはサンプル数が少ないため、回答数で示すこととする。

表の見方＝表中の網掛けは、各地域における最高値を示す。2つ以上の数字を足し合わせた「加工値」が、最高値となった場合には斜体ゴシックで示した。なお、Nは、回答者数を示している。

(1) 回答者の属性

(1) - 1 利用者アンケート回答者の属性

性別は、秋葉原、新小岩で男性が70%前後であり、他の地域は女性が60～65%あった。

表 4-1-1 性別

地域	男性	女性	不明	計	
秋葉原	76.6%	23.4%	0.0%	100.0%	N= 252
自由が丘	35.2%	64.8%	0.0%	100.0%	N= 250
池袋	34.5%	65.5%	0.0%	100.0%	N= 226
立川	34.0%	65.3%	0.8%	100.0%	N= 262
二子玉川	39.2%	60.4%	0.3%	100.0%	N= 293
新小岩	69.7%	29.9%	0.4%	100.0%	N= 234
計	47.9%	51.9%	0.3%	100.0%	N= 1,517

4 全体の調査結果分析

年齢は自由が丘、立川、二子玉川で10歳代が30～40%と多く、他の地域は、20歳代の割合が高く、特に秋葉原は、20歳代が他の世代に比べ抜き出ている。新小岩は20歳代が多いものの、各世代から幅広く回答を得られた。

表 4-1-2 年齢

地域	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	計	
秋葉原	13.1%	40.9%	16.7%	13.9%	7.5%	6.7%	1.2%	0.0%	100.0%	N= 252
自由が丘	36.4%	18.0%	11.2%	6.0%	8.8%	11.2%	8.4%	0.0%	100.0%	N= 250
池袋	26.5%	33.6%	10.6%	7.5%	8.0%	8.0%	4.9%	0.9%	100.0%	N= 226
立川	39.7%	29.0%	8.4%	5.0%	5.7%	6.9%	5.3%	0.0%	100.0%	N= 262
二子玉川	40.6%	20.8%	15.0%	9.2%	2.7%	5.5%	5.5%	0.7%	100.0%	N= 293
新小岩	8.5%	19.7%	16.2%	15.4%	10.7%	17.1%	12.0%	0.4%	100.0%	N= 234
計	28.1%	26.8%	13.1%	9.4%	7.1%	9.0%	6.1%	0.3%	100.0%	N= 1,517

職業は、秋葉原と新小岩で「会社員」の割合が50%前後と最も高く、他の地域では「学生」が、40～50%と高い。

表 4-1-3 職業

地域	会社員	自営業	公務員	無職	主婦	学生	その他	不明	計	
秋葉原	52.0%	5.2%	1.6%	1.6%	3.2%	30.6%	4.8%	1.2%	100.0%	N= 252
自由が丘	22.8%	3.2%	0.4%	6.0%	16.4%	43.2%	6.8%	1.2%	100.0%	N= 250
池袋	26.1%	1.3%	1.8%	4.9%	13.7%	42.0%	10.2%	0.0%	100.0%	N= 226
立川	21.4%	1.9%	2.3%	4.2%	11.8%	54.2%	3.8%	0.4%	100.0%	N= 262
二子玉川	18.4%	4.1%	0.3%	4.1%	17.4%	49.8%	3.4%	2.4%	100.0%	N= 293
新小岩	48.3%	4.7%	0.4%	14.1%	8.5%	12.8%	8.1%	3.0%	100.0%	N= 234
計	31.0%	3.4%	1.1%	5.7%	12.0%	39.4%	6.0%	1.4%	100.0%	N= 1,517

居住地については、「ここが最寄駅」の割合は、新小岩は他の地域に比べても高く、秋葉原と池袋は極めて低かった。また、秋葉原は「この駅から30分超」の割合が他の地域に比べて高かった。

秋葉原と新小岩を除く、他の地域は「この駅から30分以内」の割合が40～50%と高かった。

表 4-1-4 居住地

地域	ここが最寄駅	この駅から30分以内	この駅から30分超	不明	計	
秋葉原	4.4%	29.8%	65.9%	0.0%	100.0%	N= 252
自由が丘	20.0%	51.6%	28.4%	0.0%	100.0%	N= 250
池袋	6.6%	58.4%	34.5%	0.4%	100.0%	N= 226
立川	21.0%	55.0%	23.7%	0.4%	100.0%	N= 262
二子玉川	25.6%	42.7%	31.4%	0.3%	100.0%	N= 293
新小岩	52.6%	23.1%	23.9%	0.4%	100.0%	N= 234
計	21.7%	43.4%	34.6%	0.3%	100.0%	N= 1,517

「ここが最寄駅」と答えた人以外へ来訪目的を聞いたところ、いずれの地域でも「買い物や飲食」の割合が40～60%と最も高く、特に秋葉原、自由が丘、池袋60%前後であった。これは、平日と休日に調査を行ったため、休日に多い「買い物や飲食」が影響したと考えられる。

表 4-1-5 来訪目的

地域	通勤・通学	業務	買い物や 飲食	その他	不明	計	
秋葉原	14.9%	12.0%	61.0%	11.6%	0.4%	100.0%	N= 241
自由が丘	19.0%	6.0%	59.0%	15.0%	1.0%	100.0%	N= 200
池袋	25.4%	2.8%	58.2%	12.2%	1.4%	100.0%	N= 213
立川	37.2%	5.3%	49.3%	7.2%	1.0%	100.0%	N= 207
二子玉川	28.4%	6.4%	54.1%	10.1%	0.9%	100.0%	N= 218
新小岩	24.3%	15.3%	37.8%	19.8%	2.7%	100.0%	N= 111
計	24.7%	7.5%	54.7%	12.0%	1.1%	100.0%	N= 1,190

「ここが最寄駅」と答えた人以外へ来訪頻度を聞いたところ、秋葉原は「年に数回」の割合が31.1%と最も高いが、他の地域は「それ以上」の割合が最も高く30～50%であった。

表 4-1-6 来訪頻度

地域	初めて	年に数回	月1～2回	週1回	それ以上	不明	計	
秋葉原	8.3%	31.1%	27.8%	9.1%	23.7%	0.0%	100.0%	N= 241
自由が丘	6.5%	19.0%	24.0%	14.0%	36.0%	0.5%	100.0%	N= 200
池袋	2.3%	9.9%	28.2%	17.4%	40.8%	1.4%	100.0%	N= 213
立川	0.5%	8.2%	23.2%	12.1%	56.0%	0.0%	100.0%	N= 207
二子玉川	7.8%	16.5%	25.7%	16.1%	33.5%	0.5%	100.0%	N= 218
新小岩	1.8%	14.4%	19.8%	14.4%	46.8%	2.7%	100.0%	N= 111
計	4.9%	17.1%	25.3%	13.7%	38.4%	0.7%	100.0%	N= 1,190

○まとめ

利用者アンケートの回答者は、年齢は10歳代～20歳代が中心で、職業については秋葉原と新小岩は会社員が約50%と最も高かったが、自由が丘、池袋、立川、二子玉川は学生が最も高く40～50%であった。なお、年齢による各設問への回答に大きな偏りは生じていなかった。

居住地については、自由が丘、池袋、立川、二子玉川は「この駅から30分以内」が最多であったが、秋葉原は「この駅から30分超」が60%を超え最も高く、また新小岩は「ここが最寄駅」が50%と最も高かった。

ここが最寄駅と回答した人以外の来訪頻度については、秋葉原は「年に数回」～「月1～2回」が高かったが、他の地域は週複数回以上が高く、駅周辺の状況がある程度分かっている人が多いものと思われる。

4 全体の調査結果分析

参考 利用者アンケートの回答者における特定年齢層の影響について

後述の設問「この地域の治安は、ここ数年前と比べてどうなっていますか」について、年齢別にみると、「10歳代」「20歳代」「70歳代以上」で「わからない」が高い。「わからない」を除いてみると他の年齢と大きく異なることはない。

また、現在の治安に関しては、すべての年齢層で「まあまあ良い」が最高値となっており、東京都の治安についても、すべての年齢層において「変わらない」が最高値となっている。

以上の結果から、利用者アンケートの回答者は、年齢は10歳代～20歳代が中心であったが、若年層とそれ以上の年代との間に特に大きな回答傾向の差がないと考えられる。(資料編 180頁参照)

表 4-1-7 年齢別の地域の体感治安の変化

年齢	良くなっている	まあまあ良くなっている	悪くなっている	変わらない	わからない	不明	計	
10歳代	10.1%	20.6%	5.9%	19.0%	44.5%	0.0%	100.0%	N=427
20歳代	12.3%	18.2%	6.4%	24.8%	37.6%	0.7%	100.0%	N=407
30歳代	11.6%	17.2%	7.6%	33.8%	29.8%	0.0%	100.0%	N=198
40歳代	15.4%	17.5%	9.1%	35.7%	21.7%	0.7%	100.0%	N=143
50歳代	22.4%	15.0%	11.2%	29.0%	22.4%	0.0%	100.0%	N=107
60歳代	18.2%	18.2%	16.8%	26.3%	20.4%	0.0%	100.0%	N=137
70歳代以上	19.4%	22.6%	7.5%	23.7%	26.9%	0.0%	100.0%	N=93
計	13.6%	18.7%	8.0%	25.7%	33.7%	0.3%	100.0%	N=1,512

表 4-1-8 年齢別の現在の体感治安

年齢	良い	まあまあ良い	悪い	どちらともいえない	不明	計	
10歳代	18.0%	46.4%	8.7%	26.7%	0.2%	100.0%	N=427
20歳代	21.9%	45.0%	8.8%	24.3%	0.0%	100.0%	N=407
30歳代	15.2%	49.0%	11.6%	24.2%	0.0%	100.0%	N=198
40歳代	18.9%	44.8%	14.7%	21.7%	0.0%	100.0%	N=143
50歳代	25.2%	37.4%	11.2%	26.2%	0.0%	100.0%	N=107
60歳代	21.9%	34.3%	16.1%	27.7%	0.0%	100.0%	N=137
70歳代以上	24.7%	38.7%	8.6%	28.0%	0.0%	100.0%	N=93
計	20.0%	44.0%	10.5%	25.4%	0.1%	100.0%	N=1,512

表 4-1-9 年齢別 東京都全体の体感治安の変化

年齢	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	不明	計	
10歳代	7.5%	25.8%	37.7%	22.5%	6.1%	0.5%	100.0%	N=427
20歳代	12.8%	26.0%	40.8%	14.0%	5.4%	1.0%	100.0%	N=407
30歳代	7.6%	20.2%	44.9%	19.7%	7.1%	0.5%	100.0%	N=198
40歳代	7.0%	17.5%	40.6%	23.1%	9.1%	2.8%	100.0%	N=143
50歳代	12.1%	21.5%	33.6%	20.6%	11.2%	0.9%	100.0%	N=107
60歳代	13.9%	22.6%	32.1%	16.1%	13.1%	2.2%	100.0%	N=137
70歳代以上	9.7%	28.0%	30.1%	23.7%	5.4%	3.2%	100.0%	N=93
計	9.9%	23.9%	38.5%	19.2%	7.3%	1.2%	100.0%	N=1,512

(1) -2 住民・事業主等アンケート回答者の属性

性別は秋葉原、立川で「男性」が60%前後と多く、自由が丘、二子玉川は逆に「女性」が60%近くと多かった。また、新小岩では、大きな差はなかった。

表 4-1-10 性別

地域	男性	女性	不明	計	
秋葉原	61.1%	37.2%	1.8%	100.0%	N=285
自由が丘	40.7%	57.0%	2.2%	100.0%	N=270
池袋	52.8%	42.0%	5.1%	100.0%	N=176
立川	59.5%	36.9%	3.6%	100.0%	N=168
二子玉川	39.8%	58.2%	2.0%	100.0%	N=249
新小岩	47.2%	49.2%	3.7%	100.0%	N=246
計	49.6%	47.5%	2.9%	100.0%	N=1,394

年齢は30歳代~60歳代の割合が高く、それぞれの15~25%程度であった。

表 4-1-11 年齢

地域	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	計	
秋葉原	1.1%	3.5%	20.4%	21.8%	17.5%	24.6%	10.9%	0.4%	100.0%	N=285
自由が丘	0.0%	4.8%	15.9%	25.6%	19.3%	15.6%	18.5%	0.4%	100.0%	N=270
池袋	0.6%	9.7%	20.5%	16.5%	20.5%	21.0%	11.4%	0.0%	100.0%	N=176
立川	1.2%	10.7%	19.0%	23.2%	19.0%	16.1%	9.5%	1.2%	100.0%	N=168
二子玉川	0.4%	6.4%	24.9%	20.1%	18.5%	15.7%	12.9%	1.2%	100.0%	N=249
新小岩	0.8%	11.4%	13.0%	15.9%	16.7%	22.8%	19.1%	0.4%	100.0%	N=246
計	0.6%	7.3%	18.9%	20.7%	18.4%	19.4%	14.1%	0.6%	100.0%	N=1,394

職業はいずれの地域でも「会社員」が30~50%程度で最も高く、次に「自営業」が高い。

表 4-1-12 職業

地域	会社員	自営業	公務員	無職	主婦	学生	その他	不明	計	
秋葉原	48.8%	25.6%	1.8%	3.5%	5.3%	0.4%	5.6%	9.1%	100.0%	N=285
自由が丘	31.5%	19.6%	0.7%	9.3%	24.1%	0.7%	4.4%	9.6%	100.0%	N=270
池袋	36.9%	21.6%	2.3%	8.5%	9.7%	1.7%	6.8%	12.5%	100.0%	N=176
立川	31.5%	25.0%	1.2%	6.0%	7.7%	3.6%	9.5%	15.5%	100.0%	N=168
二子玉川	34.1%	15.3%	1.2%	8.4%	23.3%	0.8%	4.4%	12.4%	100.0%	N=249
新小岩	28.9%	19.5%	1.6%	13.8%	18.7%	1.2%	5.7%	10.6%	100.0%	N=246
計	35.7%	20.9%	1.4%	8.2%	15.4%	1.2%	5.8%	11.3%	100.0%	N=1,394

4 全体の調査結果分析

防犯ボランティアへの参加は、いずれの地域においても「いいえ（参加したことがない）」の割合が80%前後であった。

表 4-1-13 防犯ボランティアへの参加

地域	はい	いいえ	不明	計	
秋葉原	21.4%	77.9%	0.7%	100.0%	N=285
自由が丘	11.1%	88.1%	0.7%	100.0%	N=270
池袋	12.5%	86.4%	1.1%	100.0%	N=176
立川	11.9%	85.1%	3.0%	100.0%	N=168
二子玉川	17.3%	81.9%	0.8%	100.0%	N=249
新小岩	22.8%	76.4%	0.8%	100.0%	N=246
計	16.6%	82.3%	1.1%	100.0%	N=1,394

○まとめ

回答者の年齢は30歳代～60歳代が多く、職業は会社員と自営業・主婦が多い。利用者アンケート回答者が10歳代～20歳代だったのとは対照的である。

男女比は地域によって異なるが、回答に大きな影響を与えるほどの偏りはなかった。

また、秋葉原と新小岩で、約2割の方が防犯ボランティアへの参加経験を有していたが、いずれの地域においても大多数の方が参加経験はなかった。

※協議会関係者アンケートには、属性に関する設問は設けていない。

(2) この地域の治安は、ここ数年前と比べどうなっていると思いますか。

①利用者アンケート結果

数年前と比べたこの調査実施地域の治安について、「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」を加えたものを「改善されている」として取り扱った。

また、「わからない」については、割合が高くて、事業効果や治安状況の評価につながらないことから、次に割合の高い回答に着目した。

「改善されている」の割合は、秋葉原、二子玉川、自由が丘の順で高い。池袋、立川、新小岩は「改善されている」が25.0%前後と若干低くなる。また、立川、新小岩は「悪くなっている」は13%台と他よりやや高い。

表 4-2a 数年前と比較した現在の治安（利用者）

地域	良くなっている	まあまあ良くなっている	悪くなっている	変わらない	わからない	不明	計	
	改善されている							
秋葉原	22.2%	21.0%	7.1%	21.8%	27.8%	0.0%	100.0%	N=252
	43.3%							
自由が丘	12.4%	22.4%	4.8%	30.8%	29.6%	0.0%	100.0%	N=250
	34.8%							
池袋	9.7%	16.4%	4.0%	33.2%	36.7%	0.0%	100.0%	N=226
	26.1%							
立川	6.1%	17.9%	13.4%	21.0%	40.1%	1.5%	100.0%	N=262
	24.0%							
二子玉川	17.1%	20.1%	5.1%	19.5%	38.2%	0.0%	100.0%	N=293
	37.2%							
新小岩	12.8%	14.1%	13.7%	29.9%	29.5%	0.0%	100.0%	N=234
	26.9%							
計	13.5%	18.8%	8.0%	25.6%	33.8%	0.3%	100.0%	N=1,517
	32.3%							

4 全体の調査結果分析

②住民・事業主等アンケート結果

前記①と同様に見ていくと、「改善されている」は秋葉原、池袋が30%前後であるが、一方で、秋葉原は、逆に「悪くなっている」が27%もあり、「改善されている」と「悪くなっている」との評価が分かれている。また、他の地域が「改善されている」が「悪くなっている」より高い中、新小岩では「悪くなっている」の方が28.9%と高くなっている。

表 4-2b 数年前と比較した現在の治安（住民・事業主等）

地域	良くなって いる	まあまあ良 くなっている	悪くなっ ている	変わらない	わからない	不明	計	
	改善されている							
秋葉原	9.8%	19.6%	27.0%	28.1%	15.1%	0.4%	100.0%	N=285
	29.5%							
自由が丘	5.9%	14.4%	18.9%	31.9%	27.0%	1.9%	100.0%	N=270
	20.4%							
池袋	7.4%	24.4%	14.8%	31.3%	22.2%	0.0%	100.0%	N=176
	31.8%							
立川	8.3%	17.9%	22.6%	31.5%	19.0%	0.6%	100.0%	N=168
	26.2%							
二子玉川	4.8%	17.3%	18.5%	35.7%	22.1%	1.6%	100.0%	N=249
	22.1%							
新小岩	3.3%	15.9%	28.9%	30.9%	19.9%	1.2%	100.0%	N=246
	19.1%							
計	6.5%	17.9%	22.2%	31.5%	20.9%	1.0%	100.0%	N=1,394
	24.5%							

③協議会関係者アンケート結果

前記①と同様に見ていくと、いずれの地域においても「改善されている」が最も多い。

表 4-2c 以前と比較した現在の治安（協議会関係者）

地域	良くなって いる	まあまあ良 くなっている	悪くなっ ている	変わらない	わからない	計
	改善されている					
秋葉原	1	3	1	1	0	6
	4					
自由が丘	6	3	0	3	0	12
	9					
池袋	5	2	0	1	0	8
	7					
立川	3	4	0	1	0	8
	7					
計	15	12	1	6	0	34
	27					

○まとめ

数年前と比べたこの調査実施地域の治安について、多くの地域で「変わらない」と感じる割合が高い。

「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」を合わせた「改善されている」については、利用者と住民・事業主等の回答の割合が大きく異なる地域がみられ、また、回答の順位も一致しておらず治安の改善への評価は一様ではない。

「悪くなっている」については、いずれの地域においても住民・事業主等の方が利用者より高く、治安状況を厳しく見る傾向がうかがえる。

なお、協議会関係者については「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」が、全ての地域で最も多かった。

4 全体の調査結果分析

(3) - 1 現在のこの地域の治安について、どのように感じますか。

①利用者アンケート結果

現在のそれぞれの地域の治安については、いずれの地域においても「まあまあ良い」の割合が最も高い。

表4-3-1a 現在の治安（利用者）

地域	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも いえない	不明	計	
秋葉原	26.2%	45.2%	7.9%	20.2%	0.4%	100.0%	N=252
	71.4%						
自由が丘	23.6%	52.4%	2.8%	21.2%	0.0%	100.0%	N=250
	76.0%						
池袋	7.1%	46.0%	10.6%	36.3%	0.0%	100.0%	N=226
	53.1%						
立川	8.8%	42.4%	14.5%	34.4%	0.0%	100.0%	N=262
	51.1%						
二子玉川	33.1%	48.5%	2.4%	16.0%	0.0%	100.0%	N=293
	81.6%						
新小岩	17.9%	27.8%	27.4%	26.9%	0.0%	100.0%	N=234
	45.7%						
計	20.0%	44.0%	10.5%	25.4%	0.1%	100.0%	N=1,517
	63.9%						

②住民・事業主等アンケート結果

現在のそれぞれの地域の治安については、事業実施地域全てで「まあまあ良い」の割合が最も高くなっているが、「良い」「まあまあ良い」を合わせた割合は、全ての地域で利用者に比べ低くなっている。

表4-3-1b 現在の治安（住民・事業主等）

地域	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも いえない	不明	計	
秋葉原	10.2%	43.5%	23.5%	22.8%	0.0%	100.0%	N=285
	53.7%						
自由が丘	17.8%	56.7%	10.0%	14.8%	0.7%	100.0%	N=270
	74.4%						
池袋	6.3%	40.9%	23.3%	29.0%	0.6%	100.0%	N=176
	47.2%						
立川	7.1%	37.5%	25.0%	30.4%	0.0%	100.0%	N=168
	44.6%						
二子玉川	18.5%	54.6%	13.7%	12.9%	0.4%	100.0%	N=249
	73.1%						
新小岩	2.4%	30.9%	37.4%	29.3%	0.0%	100.0%	N=246
	33.3%						
計	10.9%	44.8%	21.7%	22.3%	0.3%	100.0%	N=1,394
	55.7%						

○まとめ

利用者、住民・事業主等とも現在の治安については、事業実施地域全てで「良い」「まあまあ良い」が多い。

また、「良い」「まあまあ良い」を合わせた割合をみると、全調査対象地域において住民・事業主等は利用者 비해低くなっており、地域の治安について厳しく評価している。

4 全体の調査結果分析

(3) -2 (現在のこの地域の治安について「良い」「まあまあ良い」とお答えの方に対して、) そのように感じる理由は何ですか。

①利用者アンケート結果

現在の治安が「良い」または「まあまあ良い」と答えた理由は、「落書きやごみが少ない」が全体的に高く、次に高かったのは、秋葉原、池袋、立川、新小岩では「防犯カメラやパトロール」であり、自由が丘と二子玉川は「街を利用する人のマナーの良さ」であった。「新聞、テレビの情報」は低かった。

表 4-3-2a 「良い」「まあまあ良い」と答えた理由 利用者 (複数回答)

地域	防犯カメラやパトロール	落書きやごみ少ない	街を利用する人のマナーの良さ	新聞、テレビの情報	その他	全体	
秋葉原	34.4%	46.7%	26.7%	11.1%	13.9%	100.0%	N=180
自由が丘	17.9%	61.1%	30.5%	8.4%	4.7%	100.0%	N=190
池袋	33.3%	33.3%	14.2%	8.3%	25.0%	100.0%	N=120
立川	24.6%	46.3%	17.2%	3.7%	14.9%	100.0%	N=134
二子玉川	10.0%	63.2%	29.7%	6.3%	10.5%	100.0%	N=239
新小岩	38.3%	34.6%	24.3%	3.7%	16.8%	100.0%	N=107
計	24.1%	50.5%	25.1%	7.2%	13.1%	100.0%	N=970

②住民・事業主等アンケート結果

「良い」または「まあまあ良い」と答えた理由は、「落書きやごみが少ない」が全体的に高く、秋葉原、池袋、立川、新小岩では「防犯カメラやパトロール」がほぼ同じで10ポイント差以内で続き、自由が丘、二子玉川では「街を利用する人のマナーの良さ」が続いていた。なお、いずれの地域においても、利用者よりも住民・事業主等の方が、「防犯カメラやパトロール」を理由にあげる割合が高く、「新聞、テレビの情報」は低かった。

表 4-3-2b 「良い」「まあまあ良い」と答えた理由 住民・事業主等 (複数回答)

地域	防犯カメラやパトロール	落書きやごみ少ない	街を利用する人のマナーの良さ	新聞、テレビの情報	その他	全体	
秋葉原	47.7%	47.7%	24.2%	7.8%	17.0%	100.0%	N=153
自由が丘	44.3%	72.6%	45.3%	6.0%	14.9%	100.0%	N=201
池袋	42.2%	59.0%	15.7%	3.6%	18.1%	100.0%	N=83
立川	52.0%	56.0%	14.7%	4.0%	14.7%	100.0%	N=75
二子玉川	23.6%	65.4%	53.8%	3.8%	14.8%	100.0%	N=182
新小岩	41.5%	50.0%	25.6%	4.9%	24.4%	100.0%	N=82
計	40.3%	60.6%	34.9%	5.3%	16.6%	100.0%	N=776

○まとめ

治安が良いと感じる理由は、利用者、住民・事業主等とも「落書きやごみが少ない」が大きな理由となっており、「新聞、テレビの情報」は低かった。

なお、自由が丘と二子玉川では、「防犯カメラやパトロール」より「街を利用する人のマナーの良さ」を治安が良いと感じる理由とする人の割合が高かった。

4 全体の調査結果分析

(3) -3 (現在の地域の治安について「悪い」とお答えの方に対して、) そのように感じる理由は何ですか。

①利用者アンケート結果

現在の治安が「悪い」と答えた理由は、いずれの地域においても「マナーが悪い人を見かける」が最も高かった。次に高かった理由は、地域によって異なり「落書きやごみが目立つ」と「新聞、テレビの情報」があげられたが、回答者数が1桁の地域もあり、今回の結果をもって、一般的な傾向といえるのかについてはさらに検討する必要がある。

治安が悪いと感じる理由のうち、「その他」では、「客引きやビラ配り」等が多くあげられていた。

表 4-3-3a 「悪い」と答えた理由（利用者）（複数回答）

地域	防犯カメラやパトロールを見かけない	落書きやごみが目立つ	マナーが悪い人を見かける	新聞、テレビの情報	その他	全体	
秋葉原	10.0%	25.0%	70.0%	25.0%	25.0%	100.0%	N=20
自由が丘	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%	42.9%	100.0%	N=7
池袋	16.7%	45.8%	45.8%	16.7%	8.3%	100.0%	N=24
立川	2.6%	21.1%	63.2%	5.3%	28.9%	100.0%	N=38
二子玉川	14.3%	28.6%	71.4%	28.6%	42.9%	100.0%	N=7
新小岩	15.6%	26.6%	70.3%	12.5%	18.8%	100.0%	N=64
計	11.9%	26.9%	65.0%	13.8%	22.5%	100.0%	N=160

②住民・事業主等アンケート結果

「悪い」と答えた理由は、「マナーが悪い人を見かける」が全ての地域で70%を超え最も高い。次に、自由が丘を除き「落書きやごみが目立つ」が高く、「防犯カメラやパトロールを見かけない」が続いている。

治安が悪いと感じる理由のうち、「その他」では、「客引きやビラ配り」「騒ぐ人がいる」「風俗等が目立つ」などがあげられていた。また、コンビニや公園等に来る若者等のグループへの印象や放置自転車や違法駐車をあげる回答も目立った。

表4-3-3b 「悪い」と答えた理由（住民・事業主等）（複数回答）

地域	防犯カメラやパトロールを見かけない	落書きやごみが目立つ	マナーが悪い人を見かける	新聞、テレビの情報	その他	全体	
秋葉原	25.4%	53.7%	82.1%	10.4%	44.8%	100.0%	N=67
自由が丘	29.6%	14.8%	77.8%	7.4%	51.9%	100.0%	N=27
池袋	19.5%	46.3%	85.4%	7.3%	46.3%	100.0%	N=41
立川	26.2%	31.0%	76.2%	19.0%	45.2%	100.0%	N=42
二子玉川	32.4%	44.1%	82.4%	0.0%	35.3%	100.0%	N=34
新小岩	40.2%	51.1%	88.0%	2.2%	34.8%	100.0%	N=92
計	30.4%	44.2%	83.2%	7.3%	41.6%	100.0%	N=303

○まとめ

治安が「悪い」と感じる理由は、利用者、住民・事業主等ともに「マナーが悪い人を見かける」が主な理由となっており、次いで「落書きやごみが目立つ」があげられている。自由が丘を除き「防犯カメラやパトロールを見かけない」は3位以下であり大きな理由とはなっていないことがわかる。なお、治安が悪いと感じる理由のうち、「その他」では、「客引き」「ビラ配り」の他「犯罪が多い」という印象や身近な体験」等があげられていた。

4 全体の調査結果分析

(4) -1 この地域で、防犯カメラの設置など治安を良くするための取組みを行ったことをご存知ですか。

①利用者アンケート結果

治安を良くするための取組の認知は、「はい（知っている）」が約 70%以上と高い。

表 4-4-1a 治安を良くするための取組の認知度（利用者）

地域	はい	いいえ	不明	計	
秋葉原	75.8%	23.8%	0.4%	100.0%	N=252
自由が丘	73.6%	26.4%	0.0%	100.0%	N=250
池袋	77.0%	23.0%	0.0%	100.0%	N=226
立川	69.1%	29.4%	1.5%	100.0%	N=262
計	73.7%	25.8%	0.5%	100.0%	N=990

②住民・事業主等アンケート結果

治安を良くするための取組の認知は、秋葉原では「はい（知っている）」が 63.2%と高かったが、他の地域は 40%を下回っている。

表 4-4-1b 治安を良くするための取組の認知度（住民・事業主等）

地域	はい	いいえ	不明	計	
秋葉原	63.2%	33.7%	3.2%	100.0%	N=285
自由が丘	37.4%	60.0%	2.6%	100.0%	N=270
池袋	35.2%	63.6%	1.1%	100.0%	N=176
立川	35.1%	59.5%	5.4%	100.0%	N=168
計	44.7%	52.3%	3.0%	100.0%	N=899

◎治安を良くするための取組の認知度と現在の治安への感じ方

①利用者アンケート結果

表 4-4-1aa 秋葉原

取組の認知	よい	まあまあ 良い	悪い	どちらとも 言えない	不明	計	
はい	25.7%	46.1%	9.4%	18.8%	0.0%	100.0%	N=191
	71.7%						
いいえ	28.3%	43.3%	3.3%	25.0%	0.0%	100.0%	N=60
	71.7%						
計	26.2%	45.2%	7.9%	20.6%	0.0%	100.0%	N=251
	71.4%						

表 4-4-1aj 自由が丘

取組の認知	よい	まあまあ 良い	悪い	どちらとも 言えない	不明	計	
はい	21.7%	56.5%	2.7%	19.0%	0.0%	100.0%	N=184
	78.3%						
いいえ	28.8%	40.9%	3.0%	27.3%	0.0%	100.0%	N=66
	69.7%						
計	23.6%	52.4%	2.8%	21.2%	0.0%	100.0%	N=250
	76.0%						

表 4-4-1ai 池袋

取組の認知	よい	まあまあ 良い	悪い	どちらとも 言えない	不明	計	
はい	8.0%	46.0%	9.8%	36.2%	0.0%	100.0%	N=174
	54.0%						
いいえ	3.8%	46.2%	13.5%	36.5%	0.0%	100.0%	N=52
	50.0%						
計	7.1%	46.0%	10.6%	36.3%	0.0%	100.0%	N=226
	53.1%						

表 4-4-1at 立川

取組の認知	よい	まあまあ 良い	悪い	どちらとも 言えない	不明	計	
はい	8.8%	42.0%	14.9%	34.3%	0.0%	100.0%	N=181
	50.8%						
いいえ	9.1%	41.6%	14.3%	35.1%	0.0%	100.0%	N=77
	50.6%						
計	8.8%	42.4%	14.5%	34.4%	0.0%	100.0%	N=258
	51.1%						

表 4-4-1as 全体

取組の認知	良い	まあまあ 良い	悪い	どちらとも 言えない	不明	計	
はい	16.3%	47.7%	9.2%	26.8%	0.0%	100.0%	N=730
	64.0%						
いいえ	17.6%	42.7%	8.6%	30.6%	0.4%	100.0%	N=255
	60.4%						
計	16.6%	46.4%	9.0%	27.8%	0.1%	100.0%	N=985
	63.0%						

4 全体の調査結果分析

②住民・事業主等アンケート結果

表 4-4-1ba 秋葉原

取組の認知	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	計	
はい	10.6%	45.0%	22.8%	21.7%	0.0%	100.0%	N=180
	55.6%						
いいえ	9.4%	39.6%	24.0%	27.1%	0.0%	100.0%	N=96
	49.0%						
計	10.2%	43.5%	23.5%	22.8%	0.0%	100.0%	N=276
	53.7%						

表 4-4-1bj 自由が丘

取組の認知	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	計	
はい	12.9%	63.4%	8.9%	12.9%	2.0%	100.0%	N=101
	76.2%						
いいえ	21.6%	51.9%	9.9%	16.7%	0.0%	100.0%	N=162
	73.5%						
計	17.8%	56.7%	10.0%	14.8%	0.7%	100.0%	N=263
	74.4%						

表 4-4-1bi 池袋

取組の認知	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	計	
はい	9.7%	46.8%	29.0%	14.5%	0.0%	100.0%	N=62
	56.5%						
いいえ	3.6%	37.5%	20.5%	37.5%	0.9%	100.0%	N=112
	41.1%						
計	6.3%	40.9%	23.3%	29.0%	0.6%	100.0%	N=174
	47.2%						

表 4-4-1bt 立川

取組の認知	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	計	
はい	8.5%	45.8%	25.4%	20.3%	0.0%	100.0%	N=59
	54.2%						
いいえ	7.0%	29.0%	25.0%	39.0%	0.0%	100.0%	N=100
	36.0%						
計	7.1%	37.5%	25.0%	30.4%	0.0%	100.0%	N=159
	44.6%						

表 4-4-1bs 全体

取組の認知	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	計	
はい	10.7%	50.0%	20.6%	18.2%	0.5%	100.0%	N=402
	60.7%						
いいえ	11.7%	41.1%	18.5%	28.5%	0.2%	100.0%	N=470
	52.8%						
計	11.2%	45.2%	19.5%	23.7%	0.3%	100.0%	N=872
	56.4%						

○まとめ

事業の取組の認知度について、秋葉原を除き、利用者の方が住民・事業主等より高く、事業についての地域への周知が不足していることがうかがえる。利用者は、イメージで答えた可能性も考えられるが、駅の利用頻度をみると1週間に複数回利用している人の割合が高く、取組が駅周辺で多く行われていたことから、実際に見ていた可能性も大きい。

また、取組の認知度と現在の治安への感じ方については、利用者では、あまり相関が見られなかったが、住民・事業主等では、取組の認知度が高い方が現在の治安を「良い」「まあまあ良い」とする人が多かった。

(4)-2 この地域で、防犯カメラの設置など治安を良くするための取組を行ったことをご存知の方へ。取組内容は何ですか。

①利用者アンケート結果

知っている取組は、立川を除いて「防犯カメラの設置」の割合が高かった。立川では、「防犯パトロール」が最も高かった。

表 4-4-2aa 秋葉原 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	144	75.4%
防犯パトロール活動	122	63.9%
秋葉原協定の策定	44	23.0%
安全・安心キャンペーンの実施	43	22.5%
アキバグリーンフェスティバルの開催	32	16.8%
公共空間活用実行計画書	8	4.2%
その他	3	1.6%
全体	191	100.0%

表 4-4-2aj 自由が丘 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	102	55.4%
街路灯の整備	78	42.4%
「まちの案内人(セザンジュ)」の配備	64	34.8%
車両進入防止柵(ボラード)の設置	51	27.7%
イベントでの広報活動	15	8.2%
防犯講習会の開催	7	3.8%
協議会ニュースの発行	5	2.7%
セーフティ・ストリートの設定	0	0.0%
その他	0	0.0%
全体	184	100.0%

表 4-4-2ai 池袋 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	92	52.9%
自転車放置禁止板の設置	84	48.3%
パトロールの実施	66	37.9%
街路灯の整備	32	18.4%
交通島景観改善	9	5.2%
その他	2	1.1%
全体	174	100.0%

表 4-4-2at 立川 (複数回答)

	数	%
防犯パトロール活動	98	53.0%
防犯カメラの設置	83	44.9%
街路灯整備	44	23.8%
マナールールCM	10	5.4%
その他	0	0.0%
全体	185	100.0%

4 全体の調査結果分析

②住民・事業主等アンケート

知っている取組は、利用者アンケートと同様に、立川を除き「防犯カメラの設置」が最も高かった。なお、立川は、「防犯パトロール」の認知度が最も高かった。

表 4-4-2ba 秋葉原 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	145	80.6%
防犯パトロールの実施	96	53.3%
秋葉原協定の策定	69	38.3%
アキハグリーンフェスティバルの開催	37	20.6%
安全・安心キャンペーンの実施	29	16.1%
公共空間活用実行計画書の策定	7	3.9%
その他	2	1.1%
全体	180	100.0%

表 4-4-2bj 自由が丘 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	87	86.1%
「まちの案内人(セザンジュ)」の配備	38	37.6%
街路灯の整備	32	31.7%
車両進入防止柵(ボラード)の設置	25	24.8%
協議会ニュースの発行	14	13.9%
防犯講習会の開催	14	13.9%
イベントでの広報活動	11	10.9%
セーフティ・ストリートの設定	3	3.0%
その他	7	6.9%
全体	101	100.0%

表 4-4-2bi 池袋 (複数回答)

	数	%
防犯カメラの設置	45	72.6%
自転車放置禁止看板の設置	35	56.5%
パトロールの実施	33	53.2%
街路灯の整備	21	33.9%
交通島景観改善	10	16.1%
その他	3	4.8%
全体	62	100.0%

表 4-4-2bt 立川 (複数回答)

	数	%
防犯パトロール活動	38	64.4%
防犯カメラの設置	37	62.7%
街路灯整備	16	27.1%
マナールールのCM	3	5.1%
その他	2	3.4%
全体	59	100.0%

○まとめ

利用者、住民・事業主等ともに、「防犯カメラの設置」「防犯パトロール」に対する認知度が高い傾向にある。

(4) -3 この地域で、防犯カメラの設置など治安を良くするための取組を行ったことをご存知の方へ。この取組を行ったことで当てはまるものは何ですか。

①利用者アンケートには本設問はない。

②住民・事業主等アンケート結果

取組を行ったことで当てはまるものは、「特にない」を除くと、いずれの地域においても「地域の課題を認識」が高く、「地域活動が活性化」が続いている。

表 4-4-3a 取組を行ったことで当てはまるもの 住民・事業主等 (複数回答)

地域	地域活動が活性化	地域の絆が深まった	地域の課題を認識	繁華街が活性化	特にない	その他	全体	
秋葉原	18.9%	8.9%	23.9%	10.0%	39.4%	8.3%	100.0%	N=180
自由が丘	20.8%	7.9%	28.7%	12.9%	37.6%	5.9%	100.0%	N=101
池袋	12.9%	8.1%	33.9%	6.5%	40.3%	4.8%	100.0%	N=62
立川	13.6%	5.1%	27.1%	11.9%	42.4%	5.1%	100.0%	N=59
計	17.7%	8.0%	27.1%	10.4%	39.6%	6.7%	100.0%	N=402

③協議会関係者アンケート結果

いずれの地域においても「地域の課題を認識」が最も多い。

表 4-4-3b 取組を行ったことで当てはまるもの 協議会関係者 (複数回答)

地域	地域活動が活性化	地域の絆が深まった	地域の課題を認識	繁華街が活性化	特にない	その他	全体
秋葉原	2	3	4	3	1	0	6
自由が丘	4	5	6	0	2	1	12
池袋	5	5	5	3	0	0	8
立川	5	3	6	2	0	1	8
計	16	16	21	8	3	2	34

○まとめ

治安を良くする取組を行ったことで当てはまるものは、住民・事業主等は「特にない」が最も高いが、次は「地域の課題を認識」である。

また、協議会関係者は「地域の課題を認識」が最も多く、次は「地域活動が活性化した」「地域の絆が深まった」が続いた。

4 全体の調査結果分析

(5) この地域で、治安に不安を感じる場所はどこですか。

①利用者アンケート結果

治安に不安を感じる場所については、全体では「ビルのすき間」が高く、次いで「公衆トイレ」があげられているが、池袋では「通り」や「公園」も高い。

「その他」では、「狭くて暗い路地」や「特定の店舗（ゲームセンターなど）」が目立った。また、二子玉川では、「河川敷」、新小岩では「駅周辺」などの回答も目立った。

表 4-5a 治安に不安を感じる場所 利用者（複数回答）

地域	通り	住宅地周辺	公園	駐輪場や 駐車場	公衆トイレ	空き地	空き店舗	ビルのすき間	その他	全体	
秋葉原	10.7%	2.8%	7.9%	4.8%	13.9%	4.8%	7.5%	46.8%	5.6%	100.0%	N=252
自由が丘	6.0%	6.4%	1.6%	5.2%	25.2%	3.2%	4.8%	30.0%	4.8%	100.0%	N=250
池袋	34.1%	3.1%	27.4%	4.4%	24.3%	6.2%	4.9%	33.6%	4.9%	100.0%	N=226
立川	16.0%	4.2%	9.5%	9.2%	24.0%	3.8%	1.5%	36.3%	9.2%	100.0%	N=262
二子玉川	8.5%	6.1%	8.9%	12.6%	20.1%	4.4%	2.7%	24.2%	11.9%	100.0%	N=293
新小岩	18.4%	8.5%	17.1%	12.4%	17.5%	6.8%	7.3%	18.4%	18.8%	100.0%	N=234
計	15.1%	5.2%	11.7%	8.2%	20.8%	4.8%	4.7%	31.5%	9.2%	100.0%	N=1,517

②住民・事業主等アンケート結果

治安に対して不安を感じる場所は、秋葉原、立川が「ビルのすき間」、自由が丘、二子玉川で「住宅地周辺」、池袋で「公園」、新小岩で「通り」が高い。各地域で不安を感じる場所としてあげられている場所は様々であり、全体としての傾向は見られない。

「その他」では、「駅周辺の客引き」を指摘する回答や、「風俗店」や「コンビニ、ゲームセンター、量販店」など特定の店をあげ、そこを利用する人のマナー等を指摘する回答が目立った。

表 4-5b 治安に不安を感じる場所 住民・事業主等（複数回答）

地域	通り	住宅地周辺	公園	駐輪場や 駐車場	公衆トイレ	空き地	空き店舗	ビルのすき間	その他	全体	
秋葉原	28.1%	9.5%	35.8%	16.8%	24.2%	11.6%	13.3%	42.1%	18.2%	100.0%	N=285
自由が丘	27.4%	38.5%	22.6%	12.6%	17.4%	12.6%	9.6%	17.0%	14.8%	100.0%	N=270
池袋	30.1%	21.0%	50.0%	14.8%	32.4%	11.4%	12.5%	21.6%	17.0%	100.0%	N=176
立川	38.7%	14.3%	25.6%	22.0%	19.6%	10.1%	12.5%	40.5%	14.3%	100.0%	N=168
二子玉川	22.9%	24.1%	22.9%	21.3%	11.2%	12.9%	4.4%	15.7%	20.1%	100.0%	N=249
新小岩	43.5%	36.2%	24.0%	24.0%	23.2%	6.1%	8.5%	26.4%	15.4%	100.0%	N=246
計	31.3%	24.5%	29.4%	18.4%	20.9%	10.8%	10.0%	27.0%	16.8%	100.0%	N=1,394

③協議会関係者アンケート結果

治安に不安を感じる場所は、秋葉原が「ビルのすき間」、自由が丘が「住宅地周辺」、池袋が「公園」、立川が「駐輪場や駐車場」が多い。

表 4-5c 治安に不安を感じる場所 協議会関係者 (複数回答)

地域	通り	住宅地周辺	公園	駐輪場や 駐車場	公衆トイレ	空き地	空き店舗	ビルのすき間	その他	全体
秋葉原	2	2	2	2	2	1	1	3	1	6
自由が丘	4	7	2	1	0	0	0	5	1	12
池袋	3	2	5	4	2	2	2	2	0	8
立川	2	2	3	4	1	0	0	2	0	8
計	11	13	12	11	5	3	3	12	2	34

○まとめ

治安に不安を感じる場所について、利用者全体では「ビルのすき間」の割合が高く、次は「公衆トイレ」だった。

住民・事業主等と協議会関係者の回答は地域毎に特色があり、かつ似ており、同じ地元の人ということで、治安に不安を感じる場所について詳しく、共通の認識を持っていることがうかがえる。

具体的な場所としては、秋葉原は「ビルのすき間」、自由が丘は「住宅地周辺」、池袋は「公園」、立川は「ビルのすき間」となっている。

4 全体の調査結果分析

(6) この地域の治安を良くするためには、どのような取組を行うことが重要だと思いますか。

①利用者アンケート結果

治安を良くするための取組は、いずれの地域においても「パトロールの実施」が最も高かった。次は、秋葉原、池袋では「街をきれいにする」が高く、自由が丘、立川、新小岩では「防犯カメラをつける」であった。また、「街を明るくする」も全体的に高かった。

表 4-6a 治安を良くするための取組 利用者 (複数回答)

地域	防犯カメラをつける	街を明るく	防犯情報の提供	パトロールの実施	街をきれいにする	その他	全体	
秋葉原	24.6%	40.1%	10.3%	48.8%	43.3%	9.5%	100.0%	N=252
自由が丘	25.2%	22.8%	2.8%	36.8%	18.8%	8.8%	100.0%	N=250
池袋	23.9%	28.8%	6.6%	43.4%	35.8%	1.8%	100.0%	N=226
立川	31.3%	24.4%	8.0%	36.6%	19.8%	5.3%	100.0%	N=262
二子玉川	23.9%	28.0%	4.8%	34.8%	20.8%	3.1%	100.0%	N=293
新小岩	41.5%	36.3%	11.5%	44.9%	29.1%	6.4%	100.0%	N=234
計	28.2%	29.9%	7.3%	40.6%	27.6%	5.8%	100.0%	N=1,517

②住民・事業主等アンケート結果

治安を良くするための取組は、秋葉原を除き「パトロールの実施」が最も高かった。秋葉原は「街をきれいにする」が53.7%で最も高いが、「パトロールの実施」も50.7%と僅差で続いている。また、新小岩では「防犯カメラをつける」も「パトロールの実施」と同率で最も高かった。

表 4-6b 治安を良くするための取組 住民・事業主等 (複数回答)

地域	防犯カメラをつける	街を明るく	防犯情報の提供	パトロールの実施	街をきれいにする	その他	全体	
秋葉原	42.5%	33.0%	9.1%	50.2%	53.7%	15.4%	100.0%	N=285
自由が丘	40.7%	41.9%	14.8%	57.0%	44.1%	11.9%	100.0%	N=270
池袋	40.3%	42.6%	14.2%	48.9%	48.3%	16.5%	100.0%	N=176
立川	50.6%	41.1%	14.9%	61.3%	48.2%	14.9%	100.0%	N=168
二子玉川	41.0%	42.6%	15.7%	50.6%	41.8%	12.9%	100.0%	N=249
新小岩	53.7%	37.8%	17.1%	53.7%	44.3%	20.7%	100.0%	N=246
計	44.5%	39.5%	14.1%	53.4%	46.7%	15.3%	100.0%	N=1,394

③協議会関係者アンケート結果

治安を良くするための取組は、各地域とも「街をきれいにする」が多い。なお、池袋では「街を明るくする」が最も多かった。

表 4-6c 治安を良くするための取組 協議会関係者 (複数回答)

地域	防犯カメラをつける	街を明るく	防犯情報の提供	パトロールの実施	街をきれいにする	その他	全体
秋葉原	4	2	2	3	5	0	6
自由が丘	6	5	3	4	7	1	12
池袋	4	7	1	6	6	1	8
立川	4	1	2	4	6	1	8
計	18	15	8	17	24	3	34

○まとめ

治安を良くするための取組は、利用者、住民・事業主等とも「パトロールの実施」が上位にきている。

また、「防犯カメラをつける」については、住民・事業主等の方が利用者に比べ割合が高い。

4 全体の調査結果分析

(7) この地域の治安を良くする取組みを行うために、防犯の専門知識を持った人によるアドバイスは必要と思いますか。

①利用者アンケートには、本設問はない。

②住民・事業主等アンケート結果

防犯の知識をもった人によるアドバイスの必要性については、いずれの地域においても「必要である」が最も高い。

表 4-7a 防犯の専門知識を持った人によるアドバイスの必要性

(住民・事業主等)

地域	必要である	不要である	どちらとも いえない	不明	計	
秋葉原	51.6%	10.2%	36.8%	1.4%	100.0%	N=285
自由が丘	45.9%	13.7%	38.9%	1.5%	100.0%	N=270
池袋	54.5%	8.5%	34.1%	2.8%	100.0%	N=176
立川	58.9%	7.7%	32.7%	0.6%	100.0%	N=168
二子玉川	49.8%	14.1%	34.5%	1.6%	100.0%	N=249
新小岩	61.0%	6.9%	30.5%	1.6%	100.0%	N=246
計	53.1%	10.5%	34.9%	1.6%	100.0%	N=1,394

③協議会関係者アンケート結果

秋葉原以外は「必要である」が最も多い。

表 4-7b 防犯の専門知識を持った人によるアドバイスの必要性 (協議会関係者)

地域	必要である	不要である	どちらとも いえない	計
秋葉原	1	1	4	6
自由が丘	9	1	2	12
池袋	5	0	3	8
立川	7	0	1	8
計	22	2	10	34

○まとめ

防犯の専門知識を持った人のアドバイスは必要と考えられている。なお、秋葉原の協議会関係者アンケートで「どちらともいえない」が多かった背景としては、協議会関係者へのヒアリングにおいて、防犯カメラの設置にあたり、電気街の協力が得られたとの発言があるように、防犯設備の設置に関して内部に詳しい人がいるので必要ないとの考えがあったことが考えられる。

(8) 東京都全体の治安状況は、ここ数年どのようになっていると感じますか。

①利用者アンケート結果

東京都全体の治安状況は、各地域とも「変わらない」が多いが、「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」を合わせた回答と、「悪くなっている」「やや悪くなっている」を合わせた回答とを比べると、回答の割合が拮抗している自由が丘と二子玉川を除き、「良くなっている」「やや良くなっている」が高い。

表 4-8a 東京都全体の治安状況 利用者

地域	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	不明	計	
秋葉原	11.9%	22.2%	44.8%	11.9%	7.5%	1.6%	100.0%	N=252
	34.1%			19.4%				
自由が丘	6.8%	25.6%	34.4%	23.6%	8.8%	0.8%	100.0%	N=250
	32.4%			32.4%				
池袋	9.3%	31.4%	38.5%	13.3%	5.3%	2.2%	100.0%	N=226
	40.7%			18.6%				
立川	6.5%	27.1%	33.2%	28.2%	5.0%	0.0%	100.0%	N=262
	33.6%			33.2%				
二子玉川	7.2%	18.8%	43.7%	24.2%	4.8%	1.4%	100.0%	N=293
	25.9%			29.0%				
新小岩	18.8%	18.8%	35.9%	11.5%	12.8%	2.1%	100.0%	N=234
	37.6%			24.4%				
計	9.9%	23.8%	38.6%	19.2%	7.3%	1.3%	100.0%	N=1,517
	33.7%			26.4%				

4 全体の調査結果分析

②住民・事業主等アンケート結果

東京都全体の治安状況は、池袋以外で「変わらない」が30%以上となっている。

しかし、「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」合わせた回答と、「悪くなっている」「やや悪くなっている」を合わせた回答とを比べると、池袋、立川では「良くなっている」「まあまあ良くなっている」が高いが、それ以外の地域では「悪くなっている」「やや悪くなっている」が高くなっている。

表 4-8b 東京都全体の治安状況 住民・事業主等

地域	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	不明	計	
秋葉原	2.1%	26.3%	36.1%	22.1%	12.3%	1.1%	100.0%	N=285
	28.4%			34.4%				
自由が丘	2.2%	22.6%	33.0%	29.6%	10.0%	2.6%	100.0%	N=270
	24.8%			39.6%				
池袋	5.7%	37.5%	26.7%	21.0%	6.3%	2.8%	100.0%	N=176
	43.2%			27.3%				
立川	2.4%	33.3%	33.3%	19.0%	11.3%	0.6%	100.0%	N=168
	35.7%			30.4%				
二子玉川	2.4%	18.5%	35.7%	28.1%	12.4%	2.8%	100.0%	N=249
	20.9%			40.6%				
新小岩	2.4%	21.5%	33.7%	25.6%	14.6%	2.0%	100.0%	N=246
	24.0%			40.2%				
計	2.7%	25.6%	33.5%	24.7%	11.4%	2.0%	100.0%	N=1,394
	28.3%			36.2%				

③協議会関係者アンケート結果

東京都全体の治安状況は、「まあまあ良くなっている」が最も多い。

表 4-8c 東京都全体の治安状況 協議会関係者

地域	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	計
秋葉原	1	2	2	1	0	6
	3					
自由が丘	0	8	4	0	0	12
	8					
池袋	2	6	0	0	0	8
	8					
立川	2	5	1	0	0	8
	7					
計	5	21	7	1	0	34
	26					

○まとめ

東京都全体の治安状況について、利用者は「変わらない」が多い。

「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」を合わせた回答と、「悪くなっている」「やや悪くなっている」を合わせた回答とを比べると、「良くなっている」と「まあまあ良くなっている」とする回答の割合が高かった。

住民・事業主等では、「まあまあ良い」が池袋、立川で大きく、当該地域では選択肢の中で「まあまあ良くなっている」が最も高くなっている。それ以外の地域では「悪くなっている」「やや悪くなっている」が高く、各地域の治安状況への評価と同様に、東京都全体の治安状況についても厳しく評価していることがうかがえる。

なお、協議会関係者では、「良くなっている」「まあまあ良くなっている」が多かった。

4 全体の調査結果分析

(9) 東京都内の犯罪発生件数は、ここ数年どういう傾向にあると思いますか。

①利用者アンケート結果

東京都内の犯罪発生件数のここ数年の傾向は、池袋以外では「増えている」が最も高く 30～50%であった。なお、池袋でも「わからない」を除くと「増えている」が高くなる。

表 4-9a 東京都内の犯罪発生件数 利用者

地域	増えている	減っている	変わらない	わからない	不明	計	
秋葉原	31.3%	17.9%	24.2%	26.6%	0.0%	100.0%	N=252
自由が丘	50.8%	11.6%	16.4%	21.2%	0.0%	100.0%	N=250
池袋	27.4%	13.7%	25.7%	33.2%	0.0%	100.0%	N=226
立川	42.7%	12.6%	14.5%	29.0%	1.1%	100.0%	N=262
二子玉川	39.2%	14.3%	16.0%	30.0%	0.3%	100.0%	N=293
新小岩	38.0%	17.9%	18.4%	25.6%	0.0%	100.0%	N=234
計	38.5%	14.6%	19.0%	27.6%	0.3%	100.0%	N=1,517

②住民・事業主等アンケート結果

東京都内の犯罪発生件数のここ数年の傾向について、池袋と立川を除くと、「増えている」が 40%前後で最も高い。なお、池袋、立川でも「わからない」を除くと「増えている」が高くなる。

表 4-9b 東京都内の犯罪発生件数 住民・事業主等

地域	増えている	減っている	変わらない	わからない	不明	計	
秋葉原	37.9%	12.6%	18.9%	28.8%	1.8%	100.0%	N=285
自由が丘	38.9%	11.5%	19.6%	28.1%	1.9%	100.0%	N=270
池袋	29.0%	19.9%	19.9%	30.1%	1.1%	100.0%	N=176
立川	31.5%	11.3%	23.2%	33.3%	0.6%	100.0%	N=168
二子玉川	40.6%	12.0%	20.1%	26.1%	1.2%	100.0%	N=249
新小岩	43.9%	9.8%	22.0%	23.6%	0.8%	100.0%	N=246
計	37.7%	12.6%	20.4%	28.0%	1.3%	100.0%	N=1,394

③協議会関係者アンケート結果

東京都内の犯罪発生件数のここ数年の傾向は、いずれの地域においても「減っている」とした人が多かったが、「わからない」も含めると、犯罪発生件数が減少傾向にあることを知らない人も半数以上いた。

表 4-9c 東京都内の犯罪発生件数 協議会関係者

地域	増えている	減っている	変わらない	わからない	計
秋葉原	1	2	2	1	6
自由が丘	2	5	3	2	12
池袋	1	6	1	0	8
立川	3	3	2	0	8
計	7	16	8	3	34

4 全体の調査結果分析

(9) - 1 ここ数年の犯罪発生件数に対する認識と各地域及び東京都全体の治安への感じ方

①利用者アンケート結果

表 4-9a-1 地域の治安について

全体	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	
	良い					
増えている	15.6%	42.3%	13.9%	28.3%	0.0%	N=564
	57.9%					
減っている	27.9%	45.0%	7.2%	19.8%	0.0%	N=222
	73.0%					
変わらない	22.2%	42.4%	12.2%	23.3%	0.0%	N=288
	64.6%					
わからない	20.5%	46.3%	6.7%	26.3%	0.2%	N=419
	66.8%					
計	20.0%	44.0%	10.5%	25.4%	0.1%	N=1,517
	63.9%					

表 4-9a-2 東京都全体の治安について

全体	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	不明	
	良い			悪い			
増えている	6.2%	15.9%	30.7%	32.4%	14.4%	0.5%	N=564
	22.1%			46.7%			
減っている	26.6%	35.6%	26.6%	6.8%	4.1%	0.5%	N=222
	62.2%			10.8%			
変わらない	8.3%	33.7%	45.5%	9.4%	1.7%	1.4%	N=288
	42.0%			11.1%			
わからない	7.4%	22.0%	51.3%	13.8%	2.9%	2.6%	N=288
	29.4%			16.7%			
計	9.9%	23.8%	38.6%	19.2%	7.3%	1.3%	N=1,517
	33.7%			26.4%			

②住民・事業主等アンケート結果

表 4-9b-1 地域の治安について

全体	良い	まあまあ良い	悪い	どちらとも言えない	不明	
	良い					
増えている	8.7%	38.8%	31.0%	20.9%	0.6%	N=526
	47.5%					
減っている	18.3%	51.4%	13.1%	17.1%	0.0%	N=175
	69.7%					
変わらない	12.6%	43.2%	18.2%	26.0%	0.0%	N=285
	55.8%					
わからない	9.2%	50.8%	15.9%	23.8%	0.3%	N=390
	60.0%					
計	10.9%	44.8%	21.7%	22.3%	0.3%	N=1,394
	55.7%					

表 4-9b-2 東京都全体の治安について

全体	良くなっている	まあまあ良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	不明	
	良い			悪い			
増えている	1.5%	8.2%	19.6%	44.9%	25.1%	0.8%	N=526
	9.7%			70.0%			
減っている	10.9%	67.4%	12.0%	6.3%	2.9%	0.6%	N=175
	78.3%			9.1%			
変わらない	1.8%	30.2%	55.1%	11.2%	1.4%	0.4%	N=285
	31.9%			12.6%			
わからない	1.5%	27.4%	50.5%	15.9%	4.6%	4.6%	N=390
	29.0%			20.5%			
計	2.7%	25.6%	33.5%	24.7%	11.4%	2.0%	N=1,394
	28.3%			36.2%			

○まとめ

利用者、住民・事業主等とも、東京都内の犯罪発生件数に対する認識について、ここ数年犯罪が「増えている」と思っている人の割合が高い。

また、犯罪が「増えている」との認識を持つ人の方が、治安を「悪い」と感じる人が多く、また、治安を「良い」と感じる人は少なく、犯罪発生件数に対する認識は治安の感じ方に影響を与えていることがわかる。

協議会関係者は、「減少している」と正しく認識している人が多かった。

4 全体の調査結果分析

(10) この地域で、防犯設備整備等、体感治安改善のための事業を行った理由は何ですか。(協議会関係者への質問)

体感治安の事業を始めた理由は、どの地域においても「治安改善の取組が必要」が最も多く、次は立川を除き「地域活動の活性化」であった。

表 4-10c 体感治安の事業を始めた理由 (複数回答)

地域	治安改善の取組が必要	行政等からの働きかけ	地域活動の活性化	地域住民等からの要望	取組地域の話をして	その他	全体
秋葉原	6	2	5	2	0	0	6
自由が丘	10	4	6	1	0	0	12
池袋	7	3	6	4	0	0	8
立川	7	4	3	4	2	0	8
計	30	13	20	11	2	0	34

(11) 事業の実施にあたり、苦労したことは何ですか。(協議会関係者への質問)

事業で苦労したことは、「費用負担に係る調整」が最も多かった。

表 4-11c 事業で苦労したこと (複数回答)

地域	協議会の立上げ	計画の協議会内の調整	地域住民等への説明	費用負担に係る調整	防犯機器業者等の選定	施設管理者との調整	その他	全体
秋葉原	1	1	3	5	1	2	0	6
自由が丘	3	4	2	7	6	4	0	12
池袋	2	3	4	4	1	2	0	8
立川	2	2	1	3	1	3	2	8
計	8	10	10	19	9	11	2	34

○ (10) と (11) のまとめ

事業を始めた理由は、「治安改善の取組が必要」や「地域活性化」が「行政等からの働きかけ」より多く、地域自ら取り組んだことがわかる。また、苦労したことでは、各地域とも半数以上の人々が「費用負担に係る調整」をあげており、費用負担は重い課題であることがわかる。他にも、「施設管理者や協議会内の調整」、「地域住民等への説明」との回答も多くあげられており、関係者の苦労がうかがえる。